

日本神経学会主

産官学イ

2025年2月26日(水) 16:00~19:00

会場:オンライン (Zoom Webinar 形式)

参加費:無料

催8日本神経学会将来構想委員会

準備委員\$勝野雅央(名古屋大学神経内科学教授)

永井義隆(近畿大学)脳神経内科/ライフサイエンス研究所教授)

富田泰輔(東京大学薬学専攻薬学講座教授)

桑原宏哉(東京科学大学脳神経病態学分野講師)

後援団体:日本医療研究開発機構 (AMED)、医療系産学連携ネットワーク協議会 (medU-net)、日本製薬工業協会 (JPMA)、 米国研究製薬工業協会(PhRMA)、欧州製薬団体連合会(EFPIA)、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)

開催趣旨

日本神経学会は、神経疾患に対する創薬トランスレーショナルリサーチの教育プログラムとして、同学会の将来構想委員会の主催 にて、2018年度より毎年度、産官学からの広い参加者を募って創薬スクールを開催し、また関連するシンポジウムを日本神経学会学 術大会においても行ってきた。

これらの教育機会では、創薬の実例紹介に加え、オープンイノベーション、知的財産、利益相反、医療系ベンチャーなどの基礎知識 の教育講演、グローバル創薬の方向性についての特別講演、創薬に係るホットな話題についてのトピックス講演、神経疾患に対する 創薬に向けた産官学連携のあり方をテーマとしたパネルディスカッション、またアカデミア発のシーズと企業のニーズをマッチン グするためのワークショップ(創薬塾)を実施した。2019年度までは対面にて開催し、参加者全員の自己紹介や名刺交換会、懇親会に て、参加者同士の交流を促進し、また2020年度以降はオンライン開催として、毎回300名を超えるご参加をいただいている。さらに、 2021 年度以降の創薬スクールでは、同じく日本神経学会将来構想委員会が実施する「研究シーズの企業導出サポート事業」とリンク して、日本神経学会会員の持参するシーズ候補(学術研究の成果)をシーズとして育成する取り組みも実施している。

第7回となる今年度は、創薬に限定せず、実用化を目指すイノベーション全般に係る教育プログラムとして産官学の様々な立場か らの参加を募り、ブラッシュアップした形で開催する。教育講演、日本神経学会会員のシーズ育成、トピックス講演の三部構成にて、 神経疾患領域における日本発イノベーション推進を模索する。

プログラム 司会:桑原 宏哉 (東京科学大学 脳神経病態学分野 講師)

16:00~16:10 Opening Remarks 横田隆徳 先生(東京科学大学 脳神経病態学分野 教授)

【教育講演】座長:勝野雅央 先生(名古屋大学 神経内科学 教授)

16:10~16:40 GNEミオパチーに対する治療薬アセノイラミン酸の開発

青木正志 先生(東北大学神経内科学分野教授)

16:40~17:00 米国でのPharmaceutical Physician としてのキャリア

原田陽平 先生(UCB Translational Medicine Director)

【シー**ズ育成プレゼンテーション**】座長:永井義隆 先生(近畿大学 脳神経内科/ライフサイエンス研究所 教授)

17:05~17:50 日本神経学会員の持参するシーズ候補(学術研究の成果)をシーズとして育成する取り組みをご紹介します

【トピックス講演】座長: 富田泰輔 先生(東京大学 薬学専攻薬学講座 教授)

17:55~18:15 認知症の治療法開発に向けた体液バイオマーカーの開発

堀江勘太 様(エーザイ株式会社 Discovery Concept Validationファンクション デピュティヘッド兼 モレキュラープロファイリング部長)

18:15~18:35 レギュラトリーサイエンスの視点からみるイノベーション推進のポイント

佐久嶋研 先生(北海道大学病院 臨床研究開発センター 特任准教授・臨床研究開発センター長補佐)

18:35~18:55 ベンチャーキャピタルから見たスタートアップ成功の秘訣

宇佐美篤 様(株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC)取締役・パートナー)

18:55~19:00 Closing Remarks 勝野雅央 先生(名古屋大学 神経内科学 教授)

HP・参加登録:https://procomu.jp/soyakuschool2025/

事 務 局:東京科学大学 脳神経病態学分野(脳神経内科)

運営事務局:株式会社プロコムインターナショナル 〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階 TEL:03-5520-8822 E-mail:soyakuschool@procom-i.jp